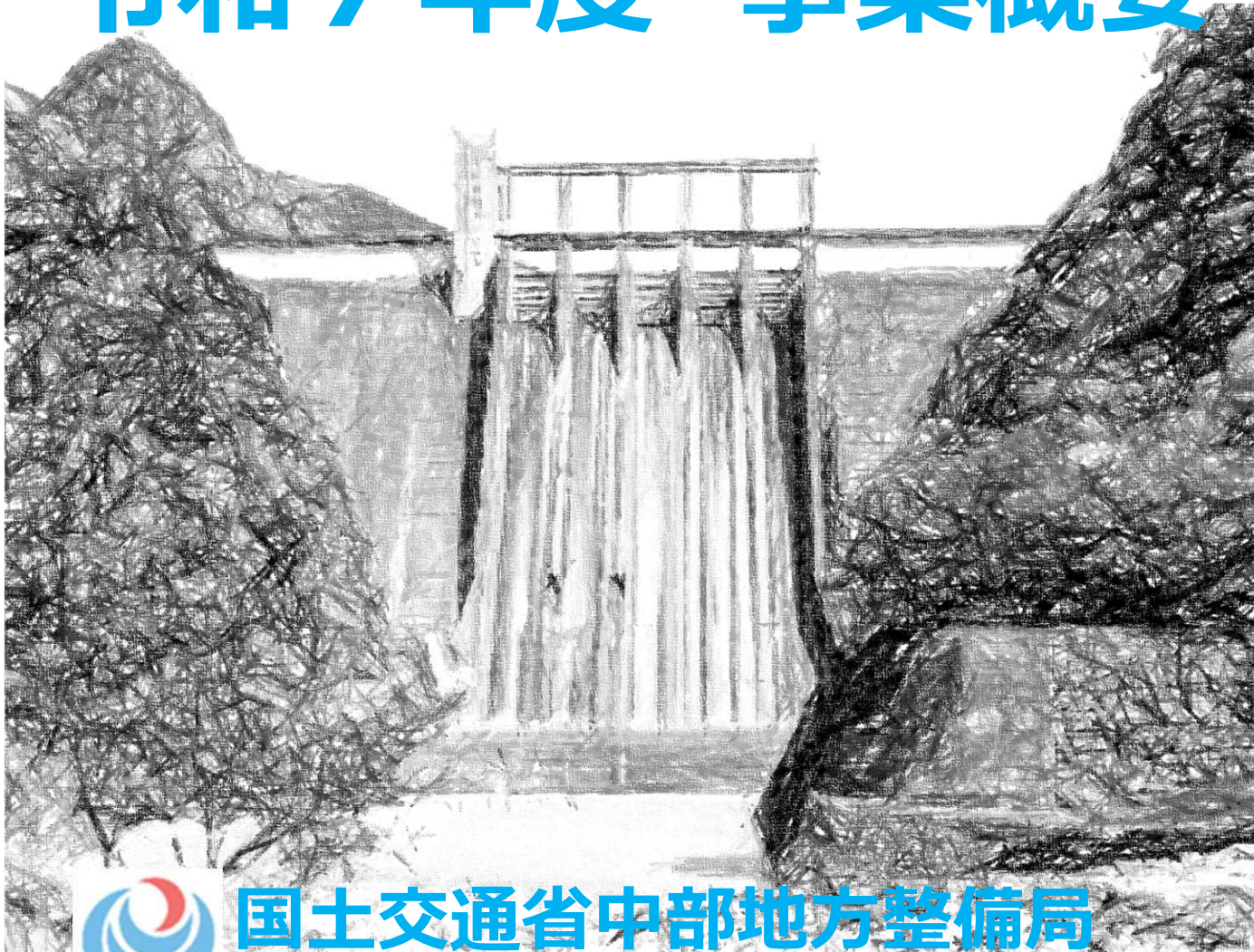


令和7年度 事業概要



国土交通省中部地方整備局
天竜川ダム再編工事事務所

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism,
Chubu Regional Development Bureau
Tenryugawa Dam Realignment Implementation Office

➤ 天竜川流域の概要	… 1
➤ 天竜川流域における課題（治水の課題）	… 2
➤ 天竜川流域における課題（土砂移動の課題）	… 3
➤ 天竜川河川整備計画、流域治水、総合土砂管理計画	… 4
➤ 天竜川ダム再編事業（整備内容）	… 5
➤ 天竜川ダム再編事業（整備イメージ）	… 7
➤ 天竜川ダム再編事業における新たな洪水調節機能の確保	… 8
➤ 天竜川ダム再編事業における恒久的な堆砂対策	… 9
➤ 天竜川ダム再編事業の進捗状況	… 10
➤ 天竜川ダム再編事業（令和7年度実施内容）	… 11
➤ 地域づくりと協働による事業理解の促進	… 13
➤ 事務所概要	… 14

天竜川は、八ヶ岳を源流とした大小30あまりの河川が諏訪湖に流水を集めた後、天竜川として長野県南部、愛知県東部、静岡県西部を貫いて太平洋に注ぐ、幹川流路延長約213km、流域面積5,090km²の我が国有数の大河川です。

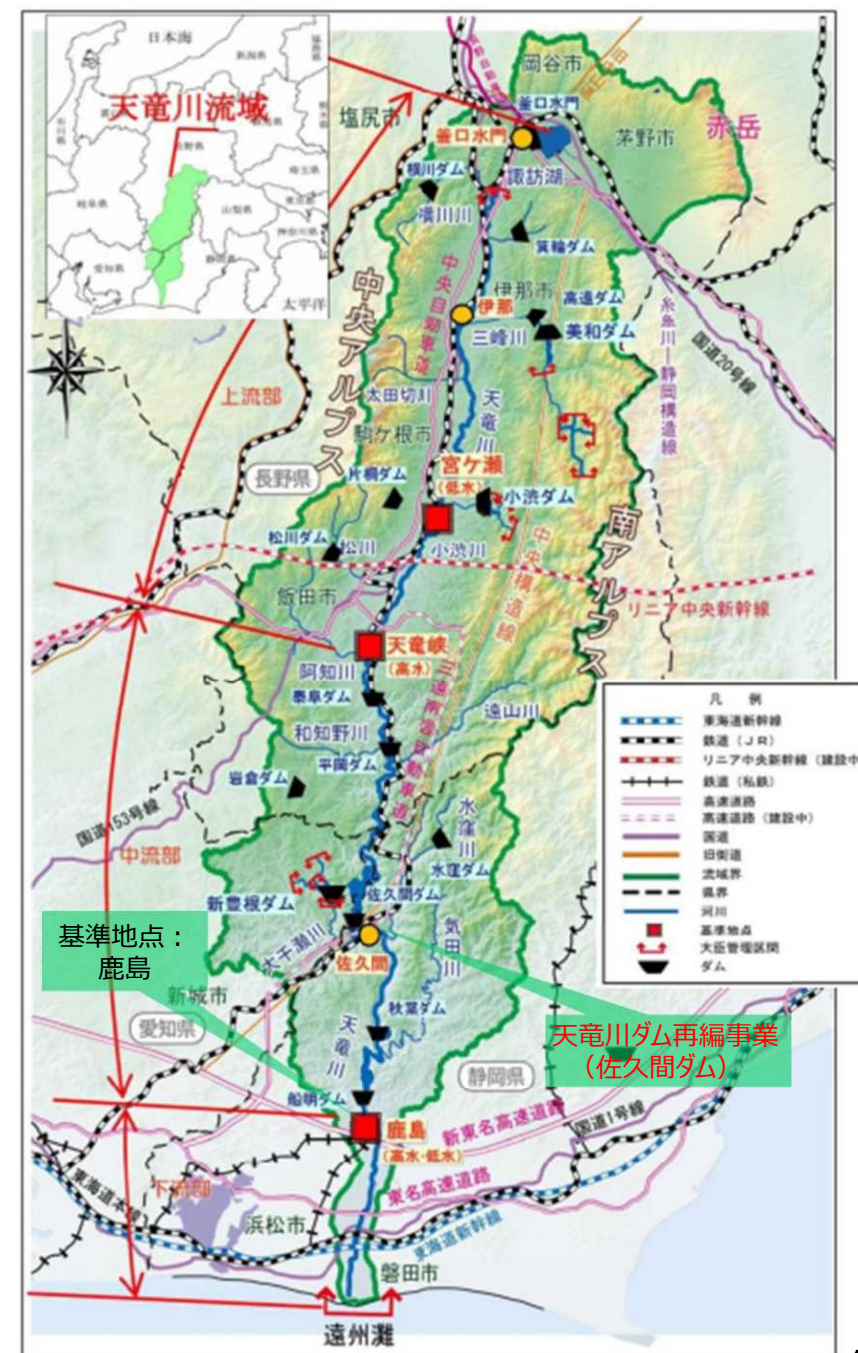
天竜川の流域は、長野県諏訪市、伊那市、駒ヶ根市、飯田市、静岡県浜松市、磐田市などの10市12町15村からなり、下流域内には、JR東海道新幹線、JR東海道本線、東名高速道路、新東名高速道路等が、上流域には中央本線、中央自動車道などが横断しており、日本の動脈となる鉄道、幹線道路が集中している交通の要所です。



天竜川河口部から上流を望む

流域面積	5,090km ²
幹線流路延長	約213km
流域市町村数	10市12町15村
主要都市	飯田市（約10万人） 浜松市（約80万人）
流域市町村人口	約163万人 （上流域：約58万人、中下流域：約105万人）

※人口の出典：国勢調査（令和2年）



治水の課題

天竜川は、「あばれ天竜」と呼ばれ、沿川では古くから大きな洪水被害をたびたび受けており、近年も河岸の欠壊や家屋の浸水などが生じています。

天竜川中下流部においても令和5年6月洪水（台風第2号）では、鹿島地点において観測史上第2位となる10,685m³/sを観測し、下流の中ノ町水位観測所において氾濫危険水位（3.40m）に迫る3.31mを観測しました。

また、静岡県磐田市を流れる二級河川敷地川の破堤により、床上7件、床下13件の被害が発生しました。

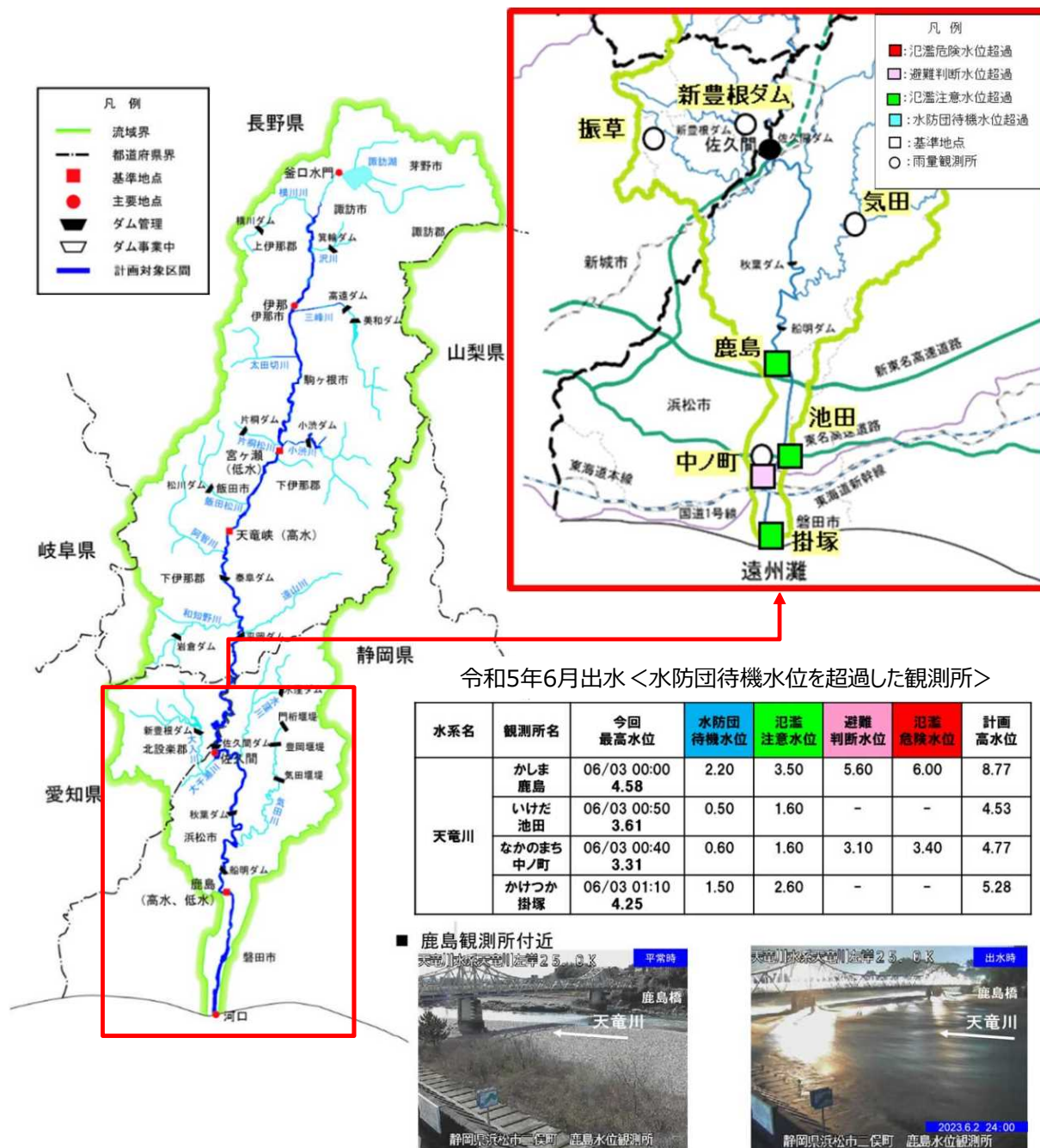
沿川に広がる扇状地は豊富な地下水や交通の利便性に恵まれ、ものづくりの地域として日本経済を支える重要な地域として発展しており、洪水被害の危険性を小さくすることが求められています。



昭和57年8月洪水
（浜松市鹿島橋付近）



令和5年6月洪水
（浜松市南区老間町地先）



土砂移動の課題

天竜川流域は、中央構造線をはじめとする多くの断層が通り、急峻な地形と破碎・変成作用を受けた脆弱な地質構造により土砂生産が活発なため、古来より幾多の土砂災害が発生しており、流出土砂対策として上流の山地では砂防堰堤の整備などが進められてきました。

一方、急流で水量が豊富な天竜川は大規模な水力発電の適地にも恵まれ、治水・利水を目的として多数のダムが建設され、治水・利水の安全を図ってきましたが、堆砂によるダムの機能低下や土砂移動の連続性の遮断といった課題が発生しています。

中田島砂丘やアカウミガメの産卵で知られる遠州灘沿岸は侵食が進んでおり、天竜川からの土砂供給の増加が求められています。

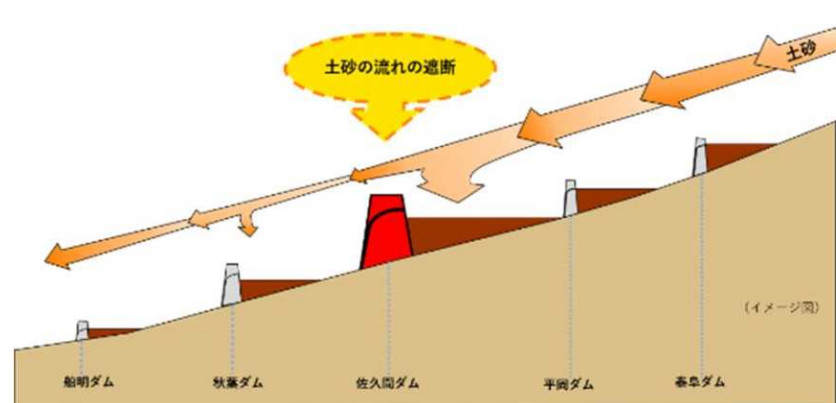


土砂生産元の例（荒川大崩壊地：長野県） 流出土砂対策（砂防堰堤の設置）

堆砂によるダムの機能低下の例（湖内の陸上掘削）



遠州灘沿岸の侵食



土砂の連続性の遮断イメージ



堆砂によるダムの機能低下の例（掘削土砂搬出）

天竜川水系河川整備計画

令和6年7月31日に変更された「**天竜川水系河川整備計画**」において、治水や総合土砂管理のための整備メニューとして「**天竜川ダム再編事業**」が位置づけられています。

- 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減
 - ・水位低下対策として、天竜川ダム再編事業による新たな洪水調節機能の確保と、ダム貯水池への堆砂を抑制する恒久堆砂対策施設の整備による洪水調節機能の維持を図る。（天竜川水系河川整備計画 本文 p 3-7）
- 総合的な土砂の管理
 - ・本川ダム領域・支川ダム領域での取り組みとして、佐久間ダム堆砂対策（天竜川ダム再編事業）により、ダム下流へ堆積土砂を運搬する施設の整備を行い、約28万m³/年の貯水池内の堆積土砂をダム下流河川へ還元することで、ダム地点における土砂移動の連続性を確保し、遠州灘沿岸の海岸侵食の抑制等を目指す。（天竜川水系河川整備計画 本文p3-26）

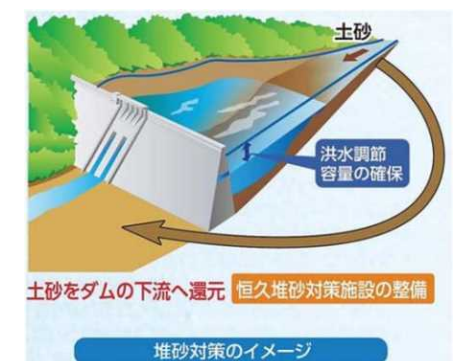
天竜川（下流）流域治水プロジェクト2.0

- 気候変動下でも目標とする治水安全度を維持するため、整備計画の目標洪水に対して、2℃上昇時の降雨量増加を考慮した雨量1.1倍となる規模の洪水を、安全に流下させることを目標に、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者による「**天竜川（下流）流域治水プロジェクト2.0**」に基づき水災害対策に取り組んでいます。
- 本プロジェクトにおける「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」として、天竜川ダム再編事業を推進することとしています。

<遠州流域治水協議会 HP> : <https://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/river/enshu/>

天竜川流砂系総合土砂管理計画

- 「**天竜川流砂系総合土砂管理計画**」では、天竜川流域の土砂に関する課題を流砂系全体で総合的に解決するために、必要な対策・土砂動態を把握し、中長期的な土砂の関わる変化をあらかじめ想定したうえで、関係機関と連携して土砂管理を推進しています。
- ダム領域と河道領域での対策によって土砂の移動の連続性を確保し、河口テラスの回復を目指すため、天竜川ダム再編事業において、堆積した土砂を掘削し、ダムの機能を維持するとともに、掘削した土砂の一部を下流に還元することとしています。



天竜川ダム再編事業整備内容

○場 所（天竜川水系天竜川）

右岸 愛知県北設楽郡豊根村

左岸 静岡県浜松市

○目 的

既設：佐久間ダム；発電（電源開発（株））

再編：洪水調節機能の付加

（洪水調節容量確保、貯水地掘削、放流設備の増設）
恒久的な堆砂対策

○工 期 平成16年度～令和13年度

○総事業費 約 790 億円

天竜川ダム再編前後のダムの諸元

	佐久間ダム （現施設）	佐久間ダム （事業完了後） ※1	差分※2
形 式	重力式 コンクリートダム	重力式 コンクリートダム	—
堤 高	155.5m	155.5m	—
総貯水容量	32,685万m ³	34,300万m ³	1,615万m ³ 増
洪水調節容量	0m ³	5,400万m ³	5,400万m ³ 増
利水容量	20,544万m ³	16,760万m ³	3,785万m ³ 減

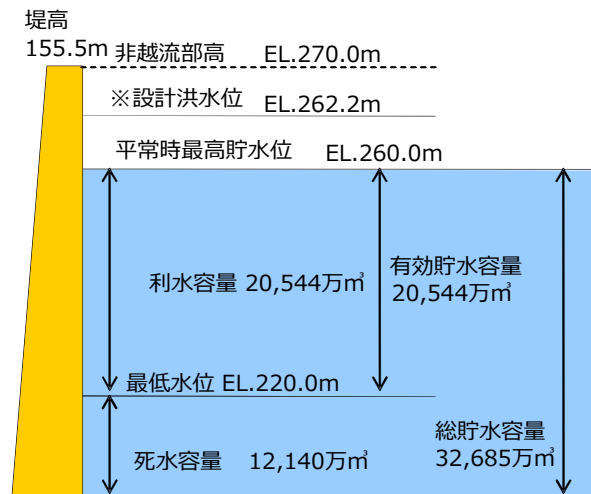
※1：洪水期の容量を記載

※2：差分は四捨五入の関係により合わない場合があります。



佐久間ダム（昭和31年完成）

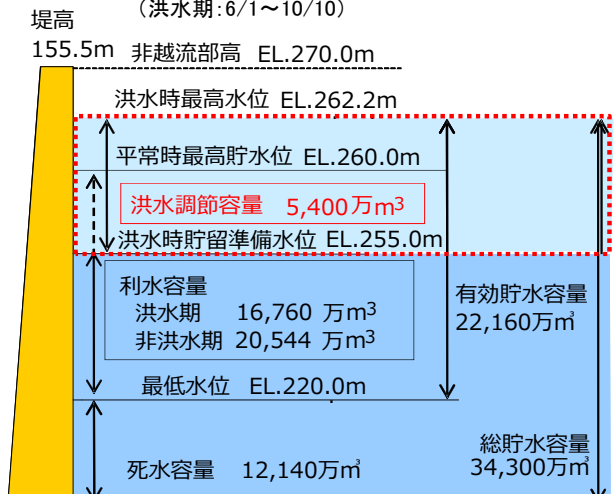
〈現在の貯水池容量配分図〉



※現構造令の名称では、洪水時最高水位に相当

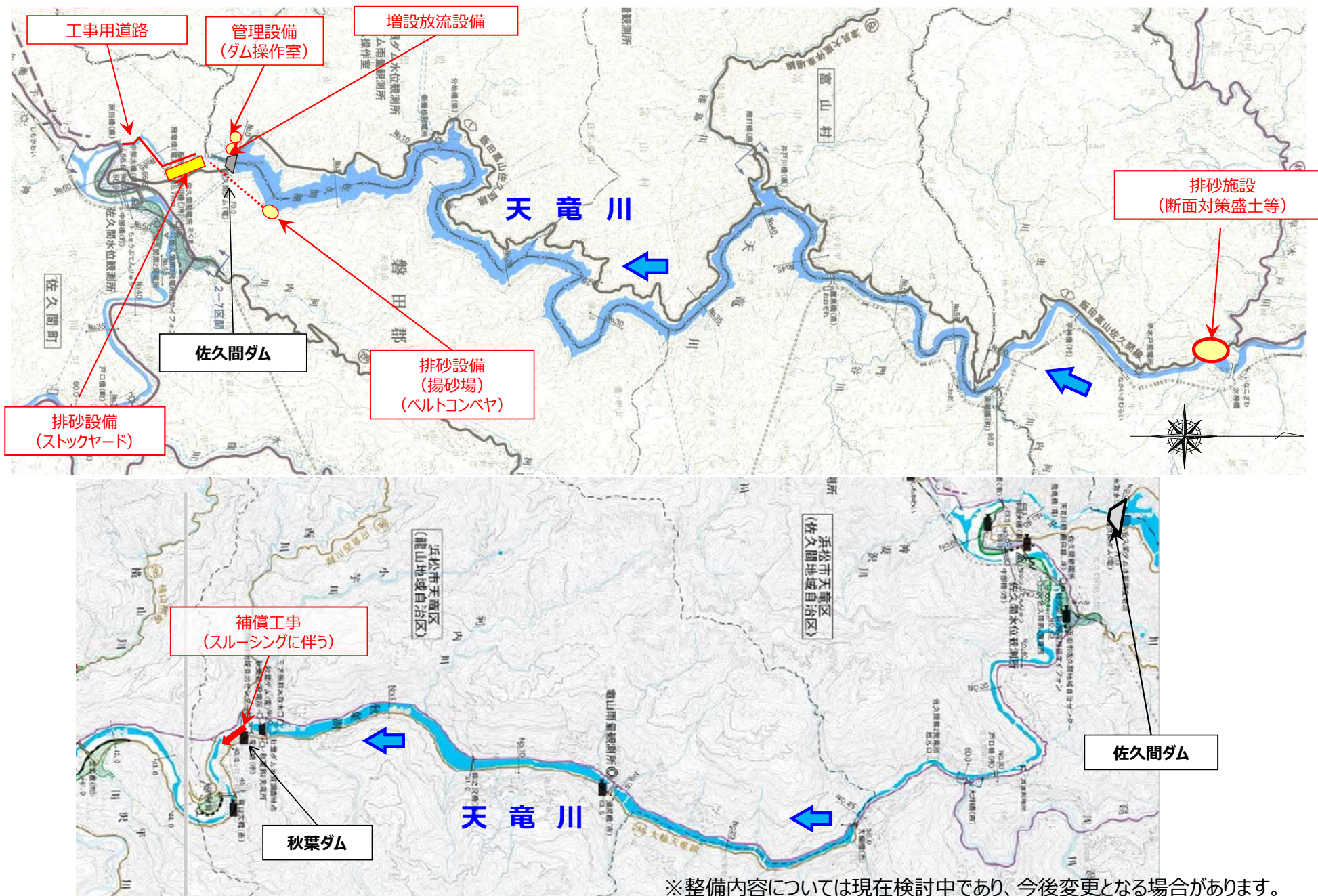
〈再編後の貯水池容量配分図〉

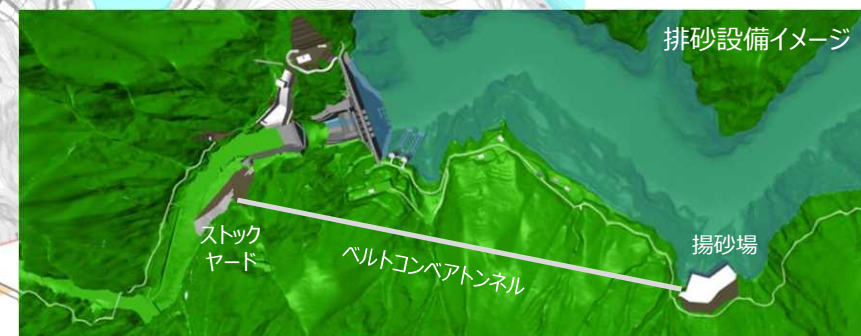
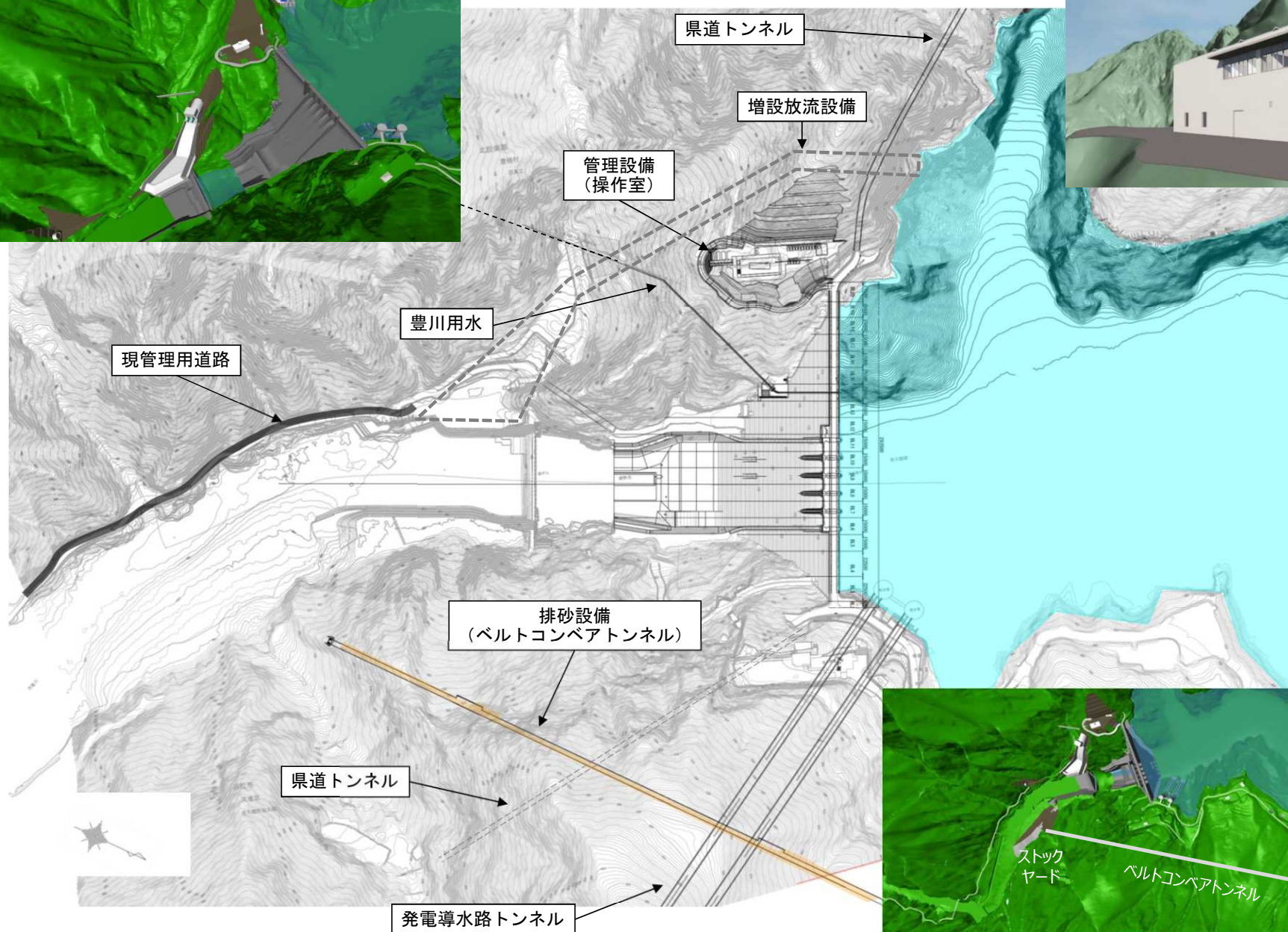
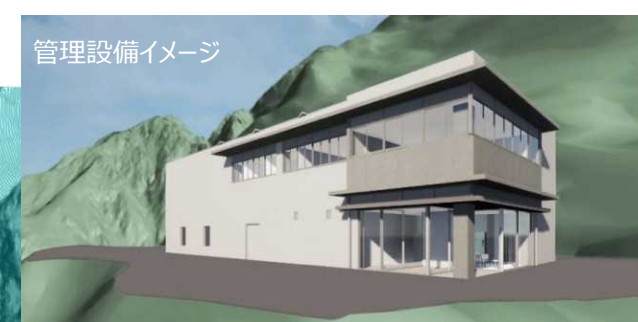
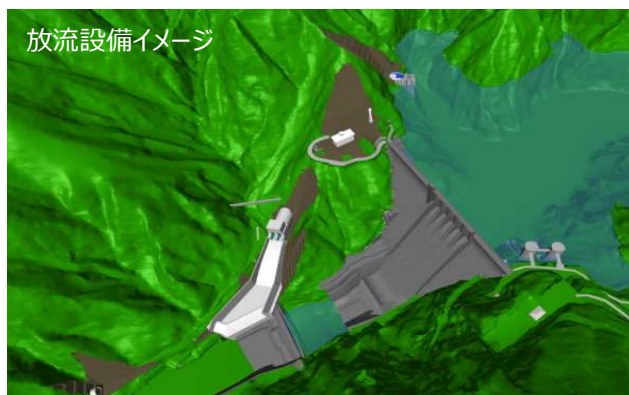
（洪水期：6/1～10/10）



事業完了後の諸元、容量配分については変更となる場合があります。

天竜川ダム再編事業整備内容





※整備内容については現在検討中であり、今後変更となる場合があります。

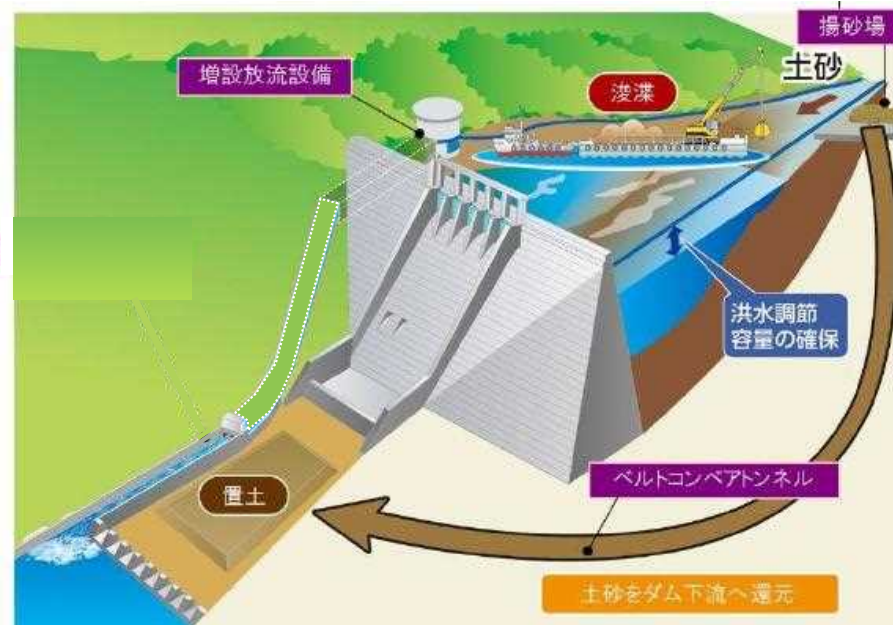
- 天竜川ダム再編事業は、天竜川中下流部の洪水防御をするため、既設の利水専用ダムである佐久間ダムを有効活用して、新たに放流設備を増設し、洪水調節機能の確保を目的として実施していきます。
- 上流域の大雨による洪水の一部をダムへ貯留することにより、下流河川を流れる洪水量を減らし、天竜川中下流部の洪水被害の軽減を図ります。

＜河川整備計画においての鹿島地点における目標流量＞

鹿島地点における目標流量16,400m³/sのうち、佐久間ダム（天竜川ダム再編事業後）と既存施設で2,000m³/sの洪水調節を行い、河道への配分を14,400m³/sとしています。

河川整備計画において目標とする流量と河道整備流量

河川名	地点名	目標流量	洪水調整施設による 洪水調節量	河道整備流量 (河道の整備で対応する流量)	備考
天竜川	鹿 島	16,400(m ³ /s)	2,000(m ³ /s)	14,400(m ³ /s)	戦後最大規模相当 の洪水対応

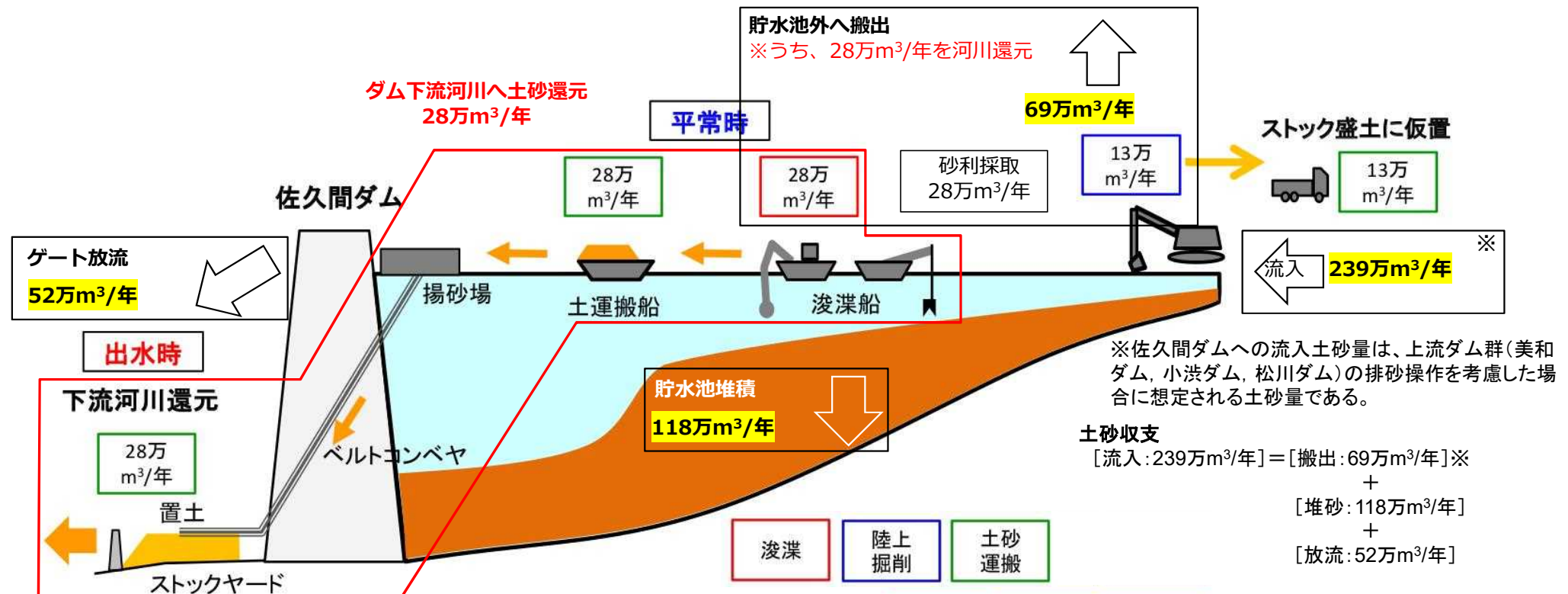


天竜川ダム再編事業の整備イメージ

- 天竜川ダム再編事業にて実施する恒久堆砂対策は、佐久間ダムに新たに確保した洪水調節容量を維持するとともに、貯水池上流部における洪水時の背水による浸水を防除することを目的に実施していきます。
 - 恒久堆砂対策により貯水池から浚渫した土砂は、ダム下流河川へ還元することで土砂移動の連続性を確保し、遠州灘沿岸の侵食の抑制等への寄与を目指します。
- なお、天竜川では天竜川流砂系総合土砂管理計画（第1版）を策定し、順応的な土砂管理を推進することとしており、天竜川ダム再編事業においてもこの趣旨に則り、事業を進めていきます。

天竜川ダム再編事業での恒久堆砂対策による土砂還元

- ① 新たに確保した洪水調節容量に影響する堆積土砂は、浚渫及び掘削によって貯水池外へと除去します。
- ② 浚渫により除去された土砂(28万 m^3 /年)は、佐久間ダム下流にベルトコンベアを用いて移送しストックヤードに置土します。
- ③ スtockヤードに置土された土砂は、出水時のダム放流によって下流河川へ土砂還元します。

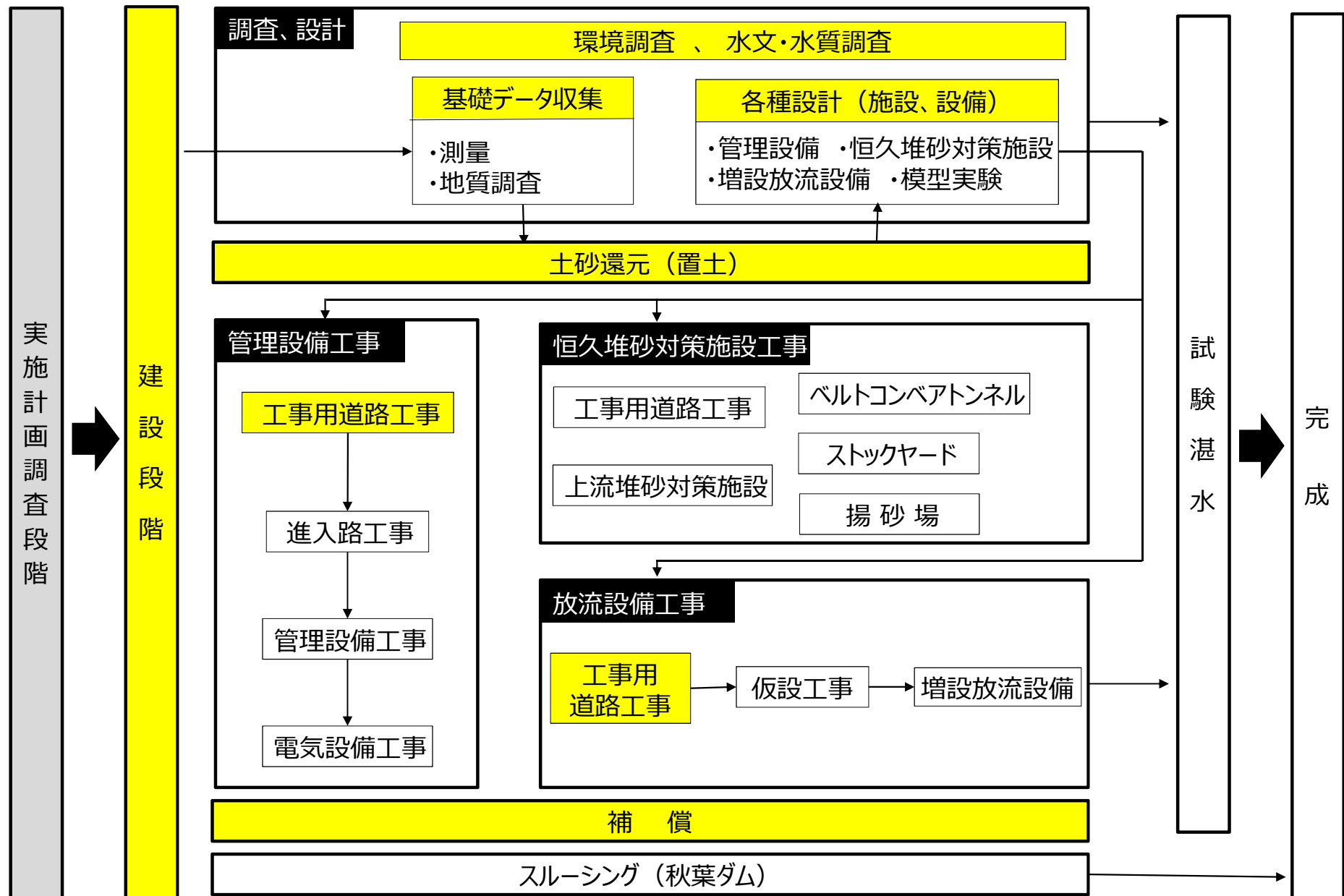


※[搬出: 69万 m^3 /年]のうち、28万 m^3 /年を河川へ還元。

出典: 第6回 天竜川ダム再編事業 恒久堆砂対策工法検討委員会(令和2年2月6日)において審議された土砂収支(年平均)を恒久堆砂対策イメージ図に追記。

佐久間ダム貯水池内の土砂収支量は、佐久間ダム貯水池運用及び上流ダム群の排砂実績等によって今後変更する可能性がある。

全体工程



※工程は現時点の予定であり、今後の状況等により変更となる場合があります。
 ※実施中箇所は予算ベースに対しての着色を行っています。

■ : 実施済箇所 ■ : 現在実施中箇所

令和7年度事業内容【約10.13億円】（令和6年度 当初約10.08億円、補正1.60億円）※金額は工事諸費等を含む

○主な事業内容：治水関連施設設計、堆砂対策施設設計、管理設備用道路工事等

治水関連施設（増設放流設備）等の検討・設計

- 治水関連施設（増設放流設備）の検討・設計（R7当初）
 - ・設備形式等の構造について、コストや効果の早期発現等を含めた総合検討を実施
- 管理設備（電気通信設備）の設計（R6補正）
 - ・洪水時のゲート操作などを行うための電気通信設備の設計を実施
- 堆砂対策施設設計（R7当初）
 - ・堆砂対策施設（ストックヤード、揚砂場）の検討・設計を実施



環境調査

○佐久間ダムからの土砂還元による河川環境への影響調査（R7当初）

- ・令和6年度からは佐久間ダム下流への土砂還元の有無による影響を調査（採水分析、深浅測量、河床材料調査、アユ等の魚類生育環境調査等）

○天竜川ダム再編事業による環境への影響調査（R7当初）

- ・工事中及び事業完了後の自然環境に与える影響を把握するための調査（カジカガエル等の両生類生息状況調査、クマタカ等の猛禽類生息状況調査、ムギラン等の植生状況調査）



採水分析・観測



河床材料調査



深浅測量



生育環境調査（アユ）



生息調査（カジカガエル）



生息調査（クマタカ）



生息調査（ムギラン）

地質調査

○貯水池地すべり調査（R6補正）

ダム事業に関連する貯水池周辺の湛水に伴う地すべり等に対する対策の必要性を確認するための調査を実施

○構造物設計のための地質調査（R7当初）

増設放流設備などの構造物設計に必要となる地盤性状を確認するため、土質ボーリングを実施



ボーリング調査



現場透水試験

管理設備用道路工事等の整備

○管理設備用道路工事（R7当初）

操作室整備に向けた伐採及びパイロット工事を実施



管理設備イメージ

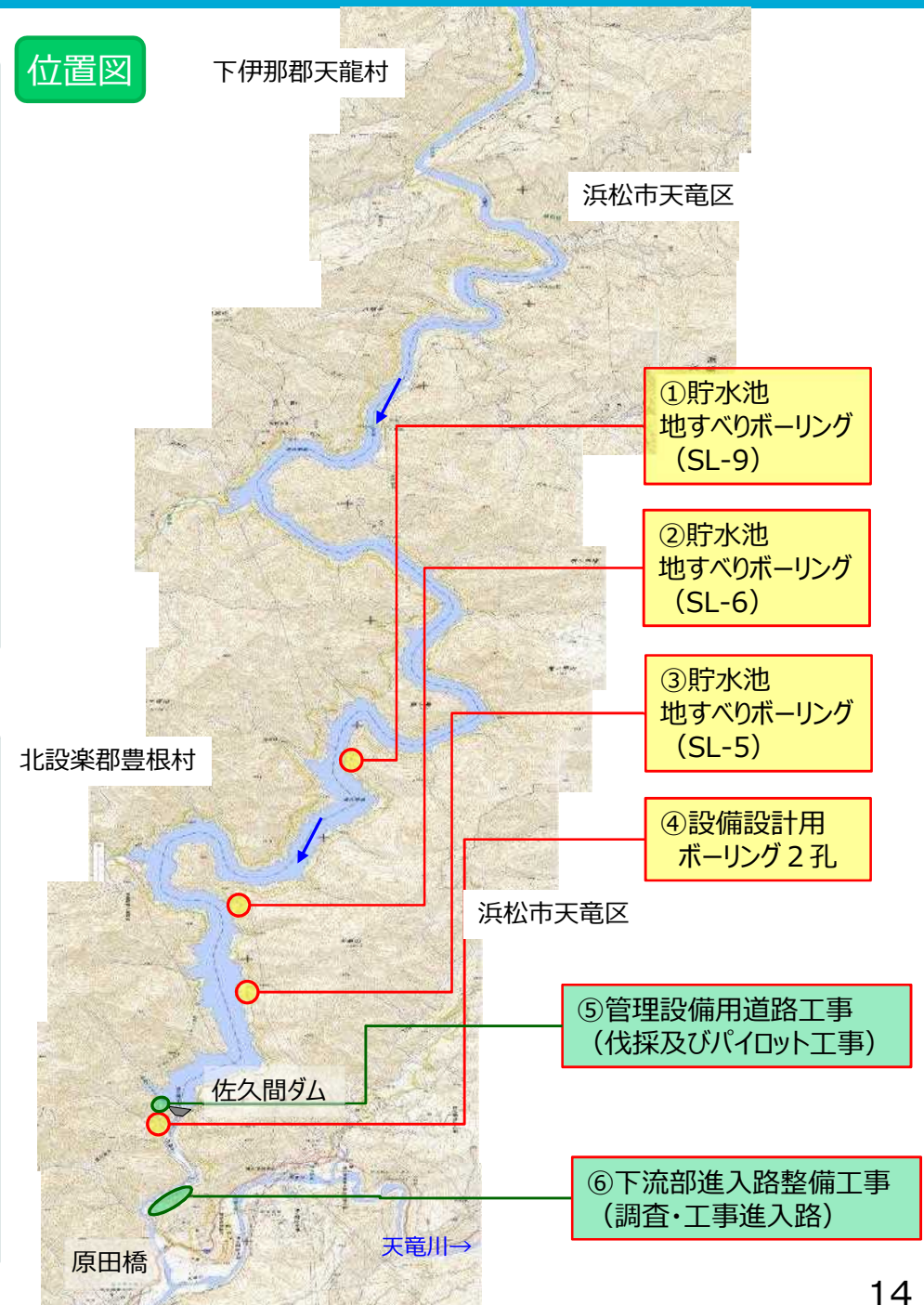
○下流部進入路整備工事（R7当初）

佐久間ダム左岸下流側からの調査・工事進入路として現道拡幅工事を実施



下流部進入路整備工事

位置図



- 佐久間地区には豊かな自然と天竜川を軸とした文化に根差した祭りや食文化などの魅力あふれる資源にあふれ、「NPO法人がんばらまいか佐久間」や「#佐久間ダム際ワーキング」などが主体となり、それら地域資源を生かした地域づくりに取り組んでいます。
- 三遠南信トライアングルの中にある佐久間地区の強みや地域資源を生かした地域づくりと協働しながら、住民が関わりやすいテーマを通じて事業理解の促進を図ります。

佐久間地域住民による地域づくり

地域・世代を越えた交流



越境学習ツアー
(#佐久間ダム際ワーキング)

地域資源



森林伐採体験
(森林組合)



地域力向上



佐久間新そばまつり
(NPO法人ががんばらまいか佐久間)

Etc.

文化伝承



純粋はちみつ
(ミキの会)

竜神まつり

国土交通省 中部地方整備局 天竜川ダム再編工事事務所

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism,
Chubu Regional Development Bureau
Tenryugawa Dam Realignment Implementation Office

住所：

〒438-0111 静岡県磐田市上野部2497-7

TEL: 0539-63-5071 (代)

FAX: 0539-63-5074

事務所HP：

<https://www.cbr.mlit.go.jp/tendamukoji/oshirase/index.html>

公式X：こちら→



■総務課

事務所へのお問い合わせをはじめ、総合窓口業務、契約・経理、事業に必要な用地（土地等）を確保するための取得などの事務を行っています。

■開発工務課

天竜川ダム再編事業に係る設計や工事に関することを行っています

■開発調査課

天竜川ダム再編事業に係る計画や試験・調査を行っています。

交通アクセス：

天竜二俣駅（天竜浜名湖線）

より徒歩13分

伊折（遠鉄バス）より徒歩2分

新東名高速道路浜北ICから
車で約10分

浜松駅（JR）より車で約40分

磐田駅（JR）より車で約30分



位置図

